

プレゼンテーション

【デザイン学部必修】
【看護学部選択】

開講年次：1 年次後期

科目区分：演習

単

位：1 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：今日の社会では、文書・画像・音声などさまざまな表現手段を組み合わせ、情報を効果的に伝達することが重要になっている。ここでは、情報を伝達する相手や目的に合った情報の収集や編集方法を学ぶとともに、プレゼンテーション用のソフトを活用し、多様な表現手段と説得力あるプレゼンテーション技術を習得する。

■**到達目標**：①目的や相手に合わせた最も効果的な表現手法および読み解く方法について理解する。
②プレゼンテーションソフトウェアを使いこなせるようになる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎武田 亘明 柿山 浩一郎

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 導 入：課題Iオリエンテーション、自己紹介と戦略的コミュニケーション
- 第 2 回 理論編：パーソナルブランドとキャリアデザイン
- 第 3 回 理論編：訴求ポイントの整理とアウトライン、インハウスデザイナー像と求められる能力
- 第 4 回 演習編：情報収集と提示素材の整理、編集・制作
- 第 5 回 演習編：表現手法と役割、編集・制作、クリティカル・シンキング
- 第 6 回 実践編：課題I発表会-1 -プレゼンテーション:行う側と受ける側
- 第 7 回 実践編：課題I発表会-2 -プレゼンテーション:行う側と受ける側
- 第 8 回 実践編：課題I発表会-3 -プレゼンテーション:行う側と受ける側、まとめ
- 第 9 回 演習編：課題IIオリエンテーション、プレゼンテーション事例紹介
- 第10回 演習編：魅力的で説得力のある画面設計、色彩、書体、構成、可視化
- 第11回 演習編：編集・制作と評価フィードバック1
- 第12回 演習編：編集・制作と評価フィードバック2
- 第13回 実践編：課題II発表会-1 - プレゼンテーション:行う側と受ける側
- 第14回 実践編：課題II発表会-2 - プレゼンテーション:行う側と受ける側
- 第15回 実践編：課題II発表会-3 - プレゼンテーション:行う側と受ける側、まとめ

■**教科書**：特に指定しない。適宜、資料等を配布する。

■**参考文献**：「プレゼンテーションの教科書」脇山真治（日経BP社）¥2,600、「デジタルプレゼンテーション」内田整・讃岐美智義・橋本悟（秀潤社）¥3,780など

■**成績評価基準と方法**：発表60%、課題・作品40%

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②		
定期試験				
小テスト・授業内レポート				
授業態度				
発表	○	○		60
課題・作品	○	○		40
出席			2/3以上の出席	
その他				

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：：表現や提案に関わる科目

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：クラス編成は、前期の情報リテラシーIの結果やデザイン・看護などの構成比などを勘案して行う。効果的に人（相手）に伝えるには、人（相手）の価値観や求めるものを理解している必要がある。常に世の中に目を向け、積極的な行動を心がけることを期待する。